

“努力することで能力はつくられる”

校長 大門 信吉

新学期が始まりました。2学期には、授業中はもちろん、学校祭の舞台や作品づくりを通して自分を表現する機会が多くあります。

以前担任していた5年生のS君。S君の体重は90Kg。運動が苦手です。そんなS君が新学期の目当てに「一回でもいいから二重跳びができるようになりたい」と記しました。それからというもの、休み時間になると真っ先に廊下に出て、二重跳びの練習。ジャンプするたびに尻餅をついては起き上がるという繰り返し。汗だくになって練習しても一向に上達しないS君を見て、クラスの友達もお手本を見せるやらコツを教えるやら……一か月近く練習が続きました。



そんなある日、「先生！できるようになったから見て！」とS君。見に行くとそこには二重跳びを2回クリアし、満足げな表情のS君。彼の懸命な姿に涙したことが思い出されます。数日後には10回を超え、いつしか30回以上も跳ぶことができるようになりました。

今までほんの少ししかジャンプできなかったのが、練習を続けるうちに、いつの間にかジャンプ力がアップし、体幹も鍛えられ、安定した姿勢で跳べるようになっていたのです。それを支えていたのはS君の「もっと上手になりたい！」という強い気持ちと途中で投げ出さず努力し続ける粘り強さだったと思います。「自分にはできない」と思って初めから自分で限界を決め、たいした努力もしないうちにあきらめてしまっていることって意外にあるのではないのでしょうか。

表題は、著名な教育者である斎藤喜博氏の言葉です。努力をすることによって自分を高めていくことが大切なのであり、自分の能力は努力することによって初めて磨かれていきます。子供一人一人がもつ可能性を引き出し、継続して努力する力を養うことができるよう、精一杯取り組んでいきたいと思えます。ご家庭でもご支援、ご協力をお願い申し上げます。

第2区域連合運動会～「継続は力なり」～

第96回高岡市小学校連合運動会は、予定していた両日も雨のため中止となり、今年度は区域ごとに実施することとなりました。9月13日（水）博労小学校に西条校、横田校、博労校、木津校、千鳥丘校の5校が集い、100m走、60mハードル走、学級対抗リレーで競い合いました。最後まであきらめず走り抜く西条っ子の姿に、毎朝継続して取り組んだ練習の成果とひたむきさを感じ、うれしくなりました。



11月7日に行われる校内持久走大会に向けて、朝のランニングが来週よりスタートします。自分の目標タイムに向かって努力を続けてほしいと思えます。

学校ホームページをリニューアル

2学期からホームページを新しいものに変更しました。土曜学習、1年生給食試食会、4年生宿泊学習、6年生連合運動等の行事だけでなく、日々の授業風景なども掲載しております。

ぜひご覧ください。



学校評価アンケート（7月実施）の結果より

1 学期末に児童及び保護者の皆様に「学校評価アンケート」を実施しました。

- 「①楽しく学校に通っている」「②授業内容を理解している」という項目では、保護者評価と児童評価がともに良好な結果でした。今後も一人一人の児童をよく見つめ、分かる授業づくりに努めていきます。
- 今年度のアクションプラン(重点目標達成のための行動計画) の評価



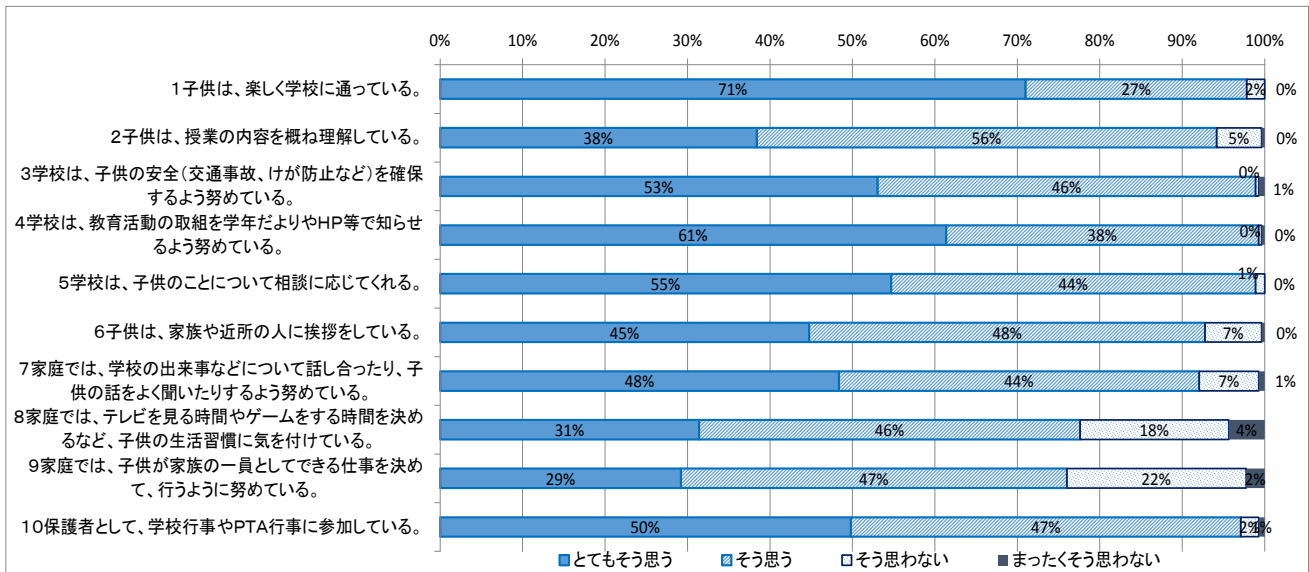
<児童玄関前の
フセンカズラの種>

- ▲「③授業中、自分の考えを發表している」・・・73.2%
 - 「⑨人のために働いたりよいことを行ったりしている」・・・89.7%
 - 「⑧健康的な生活を心がけている」・・・84.5%
- (「よくあてはまる、ややあてはまる」と答えた児童の割合)

自信をもって考えを述べることができるよう、間違いであっても認め合える学級づくりや自己肯定感を高める指導に学校全体で取り組む必要があります。「白ばとチャレンジカード」を用いて生活を見直すなど、学校と家庭とが連携した取組も継続していきたいと思います。

保護者の皆様からいただいた貴重なご意見や温かい励ましの言葉をこれからの学校経営に生かしていきます。ご協力ありがとうございました。

<1学期 保護者アンケート結果>



<1学期 児童アンケート結果>



